

# プロジェクト科目 議事録

2006 年 6 月 29 日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 E	学生 ID -
日時	2006 年 6 月 27 日 (火) 10:50 ~ 12:50
場所	寧静館 507 教室
議題	金剛流能楽師 a を招いての能楽講座
参加者: A, B, C, D, E, G, H, TA ゲスト: 金剛流能楽師 a	
<p>記録</p> <p>★ワークショップについて</p> <p>○小学生に能を教えることについて</p> <p>①能を理解するには</p> <p>能を本当の意味で理解できるようになるのは、30歳、40歳といった、自分の肉体の衰えを感じ始めるころ。小学生に理解してもらおうというのは難しいので、体験して、身近に感じてもらうというのがいちばん。</p> <p>②能を教える（教え方）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 子方の指導は、6歳ごろから、口伝で行う。じっとする、座るといったことから始め、毎日長時間はしない。</li> <li>* 幼稚園児に教えた経験から考えると、こどもは詞章の意味や文字には興味がなく、口元をまねして、音で覚えるようだ。</li> <li>* ワークショップでも、詞章を読ませることに重きを置くのではなく、声を出すこと、演じることを楽しいと感じてもらおうのがいいのではないかな。</li> </ul> <p>○具体的な体験の仕方について</p> <p>①プログラムの大枠についてのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 発表会はやったほうが良い→自分たちの成果を感じることができる</li> <li>* 太鼓・謡・舞の演目を統一したほうがよい→教えやすく、発表しやすい</li> <li>* 1グループが体験ブースにいる間は、他の2グループは展示・紙芝居ブースへ</li> <li>* 自分が1度に舞を教えられる人数→6人（大学のゼミ教室くらいの広さがほしい）</li> </ul> <p>※能楽師に、小学校の下見をしていただく必要がある</p> <p>〈教室について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>謡→どの教室でも</li> <li>舞→広さがほしい。アリーナ（体育館）はどうか。少人数（3～5人）ならゼミ教室くらいの広さでもよい。</li> </ul>	

太鼓→音のもれない場所。音楽室はどうか。

## ②具体的な演目についてのアドバイス

\* 短いもの（10分程で全体像がわかるもの）を完璧に→ゴールをイメージできるようにする

\* テンポの速い「ノリ地」のものがいいのでは？→覚えやすくみんなで合わせやすい  
例) 『鞍馬天狗』…ストーリーがわかりやすく、京都にちなんでいる

『賀茂（加茂）』…擬音語が詞章に入った、珍しい曲。京都にちなんでいる。

【雰囲気をつかむため、『鞍馬天狗』『賀茂（加茂）』『羽衣』のキリの部分を実演していただいた】

## 〈今までの謡曲案についてのアドバイス〉

『老松』…君が代のもとになったといわれているが、難しい。

テンポが遅く、ストーリーも難しいので、小学生には向かないのでは？

『高砂』…テンポは速いがノリ地ではないので謡が難しい。

『道成寺』…謡・舞・太鼓がいっしょに活躍する場面がない。

『安宅』…歌舞伎『勧進帳』との違いを教えることが難しい。

太鼓が入らない。

『羽衣』…『鞍馬天狗』『賀茂（加茂）』にくらべるとテンポはゆっくりだが、教えられないことはない。ただ、扇を開く動作を教えなければならず、時間的に難しい。

(\* 太鼓、謡、舞がそれぞれおもしろく、扇を開く動作を教えなくてもいい『鞍馬天狗』『賀茂（加茂）』が現時点では有力か？扇の扱いが難しい)

## ○他流儀と合同で行うことについて

\* 「小学生のための～」という、プロジェクトが主体であることを強調すれば、問題がないのではないか？→能楽師は外部の協力者という立場で参加する。

\* 再現性（プログラム化）の問題は、〈注〉をつけることで、解決するのではないか？

※再現性の問題や、さまざまな事情を考慮し、さらに話し合う必要がある

## ★能について

### ○道具、装束について

扇→せんすではなく、おうぎ。扇ぐものではない。

装束→身分の高い人が着るもの（本来は公家。のちに武士も）。身分の低い人が着るものはどんなにきらびやかでも「衣装」という。

### ○能と現代劇（映画など）との違い

能には結末がない。問題が解決せず、ストーリーらしい起承転結もはっきりと見られないため、終演後も考え続けなければならない。すっきり完結して終わらないので、「考えさせる芸能」なのではないか？

### ○紙芝居について

『道成寺』…身分の高い女の人が恋をして、蛇身に変わる意味を考えてほしい。

自分に自信のある女性が、執念にとられることの醜さを、蛇身という象

微的な姿で描いていると考えられる。

『安宅』…歌舞伎『勸進帳』との違いを鮮明にするのが難しいのではないか？

歌舞伎では、富樫（関守）の人情に主眼が置かれているが、能では、鬼気迫る弁慶や迫力ある郎党たちが従う、義経のカリスマ性を描こうとしている。

『羽衣』…なじみのあるストーリーでいいのでは？

小学生には理解しやすいのではないか。

\*小学生に教えるには

- ①色恋沙汰ではないもの
- ②ストーリーが簡潔でわかりやすいもの
- ③土地になじみがあるもの

という点を考えてみてはどうか？